

第1部 トークセッション

ママだからできること

第1部は、「子どもたちのためにママができること」をテーマに、タレントの原田さとみさんと朝日新聞の川村真貴子記者がトークを繰り広げました。子育てと働くことを両立しながら活躍する二人。その原動力は――。



原田さとみさん 身の丈にあった行動伝えたい
はらた・さとみ 1967年生まれ。モデルを経て、名古屋を中心にタレントとして活動している。2000年に現職を退職。JICA中部なごや地球ひろばオフィシャル・サポーターを務める。

川村 仕事や育児など、いくつかのことが重なったときに「何かをあきらめる」のではなく、「何事も前向きに」。朝日新聞はそんな女性を「ヨクバリージョ(欲張り女)」と名付けて応援してきました。さまざまな活動に取り組む原田さんは、まさにヨクバリージョですね。原田 いま息子は10歳になるのですが、出産をきっかけに地球のことを考えるようになりました。フェアトレードの普及などの貧困問題や環境問題への取り組みは「世界の子どもたちのために何とかしなくちゃ」という思いから始まりました。川村 我が家には5歳になる双子の男の子がいます。私も出産を機に、生活や考え方が一変

しました。それまでは仕事を第一に考えていたけれど、子どもを優先するようになった。原田さんは、仕事との両立はどのようにされていますか。原田 本業は「お母さん」です。私の場合は、仕事は苦勞しても努力すれば何とか思い通りに進みましたが、子育てではもうはきません。なので、難しいからと面白く感じて真剣

に取り組みました。でも、バランスが大事です。川村 私の子育てのモットーは「適当」。「ママも記者も100点を目指して頑張る」ときくと、夢ってしまいます。うちは双子なのでリスクは2倍。例えば、同時に風邪をひいてくれればいいのに、少しずつくるんです。「地獄の時間差攻撃」。取材の予定がある時は「明日だけは熱を出さないで」とお祈りすることもあります。原田 意外と子どもって「ごめん」という大事な日には熱を出さないものですね。逆に忙しくて自分に余裕がなくなっていると、タイミング良く息子の調子が悪くなって仕事のペースを緩

めることがあるので、息子に「おかげで仕事を休めた。ありがと」となる。自分の体も休まらして、張りつめていた気持ちがほぐれ、助けられます。川村 親は子どもを産んで、すぐに親になれるわけじゃない。子どもを育てながら親として育てられていきますね。原田 息子がある日、こう言ってくれました。「お母さんとお父さんの間に生まれて良かった。生まれる前に雲の上から全部見てたよ。それでここを選んでたんだよ。育児の励みになりました」。

川村 原田さんにとっての「ヨクバリージョ」とは、どんな女性ですか。原田 私のいまの活動のキーワードは「エシカル」。「倫理的な、人道的な」という意味の英語です。塗上面を支援するフェアトレードもその一環ですが、例えば、思いやりを持った買い物や「近所付き合いのよう」に、身近な世界へ広がるような……。そんなことを伝えていく「ヨクバリージョ」でありたいです。

等身大磨ころ

前向きな女性を応援する朝日新聞名古屋本社のプロジェクト「ヨクバリージョ+」のイベント「人にいいこと 地球にいいこと」が11月13日、名古屋市中区の朝日ホールで開催されました。育児と仕事、社会活動はどう両立させる？ 食品や製品の貿易を通じて互いに助け合える「フェアトレード」の可能性は？ そんなことをテーマに語り合ったトークセッションと、会場を魅了したファッションショーの様子を紹介します。

(主催・朝日新聞社、名古屋ABC
(協賛・ラボ教育センター、ウェスティングナゴヤキャッスル)



第2部 ファッションショー

第2部は、原田さんがプロデュースした「エシカル・ファッションショー」が開かれました。テーマは「おしやれにいいこと」です。高橋誠さんのパイオリンと望月雄史さんのギターの調べに乗って、4人の女性モデルがフェアトレード産品を素材に使った服を紹介しました。

環境思いのおしゃれ術
スタイリッシュなスタイル、エキゾチックなデザイン……。登場した様々な服は、原田さんがフランスで買ったブランドの製品や、ルワンダの市場で買った布地を使って地元・名古屋のブランドが作ったオリジナルのものが中心です。それぞれが、大きな共通点があります。それは、つくる人の労働条件や地球環境への配慮を重視していること。原田さんは会場の参加者に、その考え方を「エシカル」というキーワードで紹介しました。原田さんが挙げたエシカルファッションの条件は、エコロジカルで安全な素材を使っているか、正しい労働環境や適正な賃金で生産されたか、と話ししました。会場には、フェアトレード商品の即売やメキシコ産のフェアトレードコーヒーの試飲サービスのコーナーも設けられました。



会場では4人の女性モデルが「エシカルファッション」を紹介しました

「ヨクバリージョ」は、前向きな女性を応援する朝日新聞名古屋本社のプロジェクトです。これまで3年にわたって、紙面での企画掲載やゲストを招いたイベントを続けてきました。4年目となる今年は、新鮮な気持ちを表す「+ (プラス)」を添え、さらなるパワーアップを目指しています。年に1度、これまで3回開いてきたイベントは来年3月5日に開く予定です。今回の「人にいいこと 地球にいいこと」は、そのプレ企画として開催しました。来年3月のイベントにも、どうぞご期待ください。(この特集は、文を兼田徳幸と佐藤恵子、(写真を小川智と佐藤慈子が担当しました)

lunch spa plan
ランチスパプラン

サロン・ドゥ・スパ「MONA」のトリートメントとレストランのランチがセットになったランチスパ2010。

2011/3/31 thu まで

- ・「デトックス」 ¥29,000(税込)
- ・「アンチエイジング」 ¥22,500(税込)
- ・「リラクゼーション」 ¥17,000(税込)

ウェスティングナゴヤキャッスル
tel 052.521.2121
〒451.8551 名古屋市中区西区口町3-19 www.castle.co.jp/wnc
【無料シャトルバスのご案内】JR名古屋駅より徒歩中(毎時00分発)



英語が好き、子どもが好き、絵本が好き。
子どもたちのために
ママができる仕事。

子ども英語教室 ラボ・パーティ 指導者募集中
「ラボ・チューター」を始めませんか？
ラボ・チューターは、絵本や物語を英語と日本語で楽しみながら、子どもの言語力・社会力・国際コミュニケーション力を育む教育活動『Labo Party』の指導者です。自宅でもわが子と楽しみながら、絵本で子育てができ、英語のスキルアップが図れます。国際交流キャンプや海外ホームステイの引率など、単なる英語教育の先生とはまったく違う豊かな活動内容は、あなた自身の可能性もどんどん広がっていきます。

無料の初期研修、教材無償レンタル、開設初年度指導料収入の保証など、スタート時のバックアップ制度も充実しており、安心して始められます。

ご興味・ご関心のある方は資料をご請求ください。詳しい資料をお送りいたします。

1 ホームページから <http://www.labo-party.jp>
「ラボ・パーティ」で検索！

2 フリーダイヤルから 0120-808-743

3 携帯電話からアクセス 「きっかけ」欄に「朝日」と入力ください。

資料請求お申し込みの方全員に「ラボ・パーティ紹介CD」を同封いたします。【英語の歌14曲、物語朗読2編他40分収録】

会員募集中 (対象0歳～大学生までクラスあり)

入会金	幼児会員5,250円(税込)・小学生以上7,350円(税込)	無料体験受付中!
会費(月額)	幼児会員6,300円(税込)・小学生以上7,350円(税込)	詳しくはホームページへ

この他、教材費15,750円(税込)がかかります。

ことばがこどもの未来をつくる
Labo Party
Since 1966
株式会社ラボ教育センター 中部総局
〒460-0008 名古屋市中区栄3-13-20
栄センタービル3F